



琉球大学資料館（風樹館）

# 風樹館だより



2008（平成20）年5月1日発行 第1号

## はじめに

琉球大学資料館（風樹館）は、旧首里キャンパス時代に、県内企業の金城キク商会から建物の寄贈を受け、古農具類や動植物標本の展示を中心とした農学部附属の農業資料館（風樹館）として昭和42年に開館しました。当時、国内の大学にはまだ附属の博物館は少なく、日本の「ユニバーシティ・ミュージアム」の草分け的存在でした。その後、本学の千原キャンパスへの移転に伴い、昭和60年に全学共同利用施設として現在の資料館が新たに整備されました。当館には、おもに学内の研究活動によって琉球列島各地で収集された4万点余りの標本や資料が収蔵されており、特に琉球文化圏と亜熱帯地域という本学ならではの研究フィールドを背景としたユニークな学術資料が蓄積されています。

### ◇ 風樹館のあゆみ

- |       |     |  |
|-------|-----|--|
| 昭和42年 | 3月  | 旧首里キャンパスにおいて、金城キク商会（金城報恩会）から農業博物館（風樹館・952.8m <sup>2</sup> ）が寄贈される。 |
|       | 11月 | 農学部には風樹館運営委員会を置き、高良鉄夫農学部長が初代委員長となる。                                |
| 昭和58年 | 5月  | 本大学の千原キャンパスへの移転に伴い、新たに学内共同利用施設として「標本資料館設置のための検討会」が組織される。           |
| 昭和60年 | 3月  | 琉球大学資料館竣工。   |
|       | 4月  | 各学部から選出された教官によって資料館運営委員会が設置され、琉球大学資料館規則が制定される。館名は従来の風樹館を継承する。      |
|       | 9月  | 旧風樹館および各学部から標本資料等の移転を完了し開館となる。初代館長には、農学部の東清二教授が選出される。              |

## 目次

- 01： はじめに
  - 風樹館のあゆみ
- 02： 運営方針
  - 収蔵資料の概要
  - 貴重な標本・資料
- 03： 常設展示案内
  - 収蔵資料の整理状況
  - 風樹館コレクション No.1 建物
- 04： 2007（平成19）年度 来観者数
  - 2008（平成20）年度 行事予定
  - 2008（平成20）年度 運営体制
  - 利用案内



旧建物外観  
『琉球大学三十年』（1980年）より



旧動物展示室  
『風樹館要覧』（1972年）より



金城キク女史  
『風樹館要覧』（1972年）より



## 運営方針

琉球大学資料館（風樹館）では、以下に示す基本方針のもとに、本年度の各事業を実施するとともに、標本類の保管整理や諸機能の拡大・強化を図り、ひいては今日的な大学博物館としての役割と機能の充実を目指す。

- ① 学内の体感教員の研究資料の受け入れのみにとどまらず、広く県内外を対象とした学術資料を収集し、これらを体系的に整理・保管できる体制を整え、学内外の研究や教育活動に有効に活用できるシステムを構築する。
- ② 総合博物館的な性格を強化し、学校教育や生涯学習における幅広い利用を促進するとともに、学内の学芸員養成教育や地域博物館の学芸員、学校教員等のリカレント教育に利用できる体制を整え、地域における多様な研究・教育活動を支援する。
- ③ 学内外の研究機関をはじめ、広く一般社会に向けて、資料館を通じ本学が有する学術情報の発信を行い、本学の学術活動についての理解を拡大するとともに、大学と地域との連携強化を図る。

## 収蔵資料の概要

現在、当資料館には沖縄独自の自然と文化を背景にした学術的価値の高い標本を中心に、約4万点あまりが収蔵されています。これらの中には、世界で最初に発見されたイリオモテヤマネコのタイプ標本や首里城に設置されていた日時計石板などの貴重な標本や資料が多数含まれています。

### ◇ 標本資料総数：約41,000点

- 民俗：約150点（古農具類および民具など）
- 美術工芸：約900点（沖縄伝統工芸品、沖縄郷土玩具など）
- 考古：約2,100点（首里城関連の考古資料）
- 動物：約35,000点（琉球列島に生息する動植物など）
- 地学：約2,000点（琉球列島に産出する岩石類など）
- 文献：約1,000点



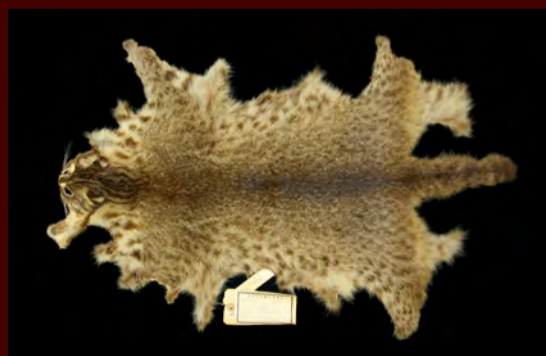
ヤンバルクイナ剥製標本



張子玩具（チンチンウマグワ）

### ◇ 貴重な標本・資料

当館の収蔵標本には、生物に学名を与える（種の記載）際に用いられたタイプ標本や首里城復元に利用された首里城関連の考古資料など、学術上重要な標本や資料が多数収蔵されています。



イリオモテヤマネコ（タイプ標本）



キクザトサワヘビ（タイプ標本）



昆虫類（タイプ標本）



首里城 大龍柱頭部破片（阿形）



首里城 漏刻門日時計方位版破片

## 常設展示案内

### 自然系常設展示

イリオモテヤマネコやヤンバルクイナなどの県内に生息する貴重な生物の標本をはじめ、貝類標本、サンゴ標本、琉球列島産の岩石標本などが展示されています。



### 文化系常設展示

沖縄の織物や陶器などの伝統工芸品、わら算や琉球玩具などの民俗資料、首里城関連の考古資料などが展示されています。



### 学校ビオトープ見本園

小学校などに適したバリアフリーのビオトープがあり、いろいろな昆虫類や植物を観察することができます。



## 収蔵資料の整理状況

昨年度までの標本整理によって、当館の各標本種別における収蔵資料数をほぼ把握することができました。各資料の点数及び整理状況は表の通りです。現在、生物標本については、各分類群のタイプシリーズの整理を重点的に実施しています。

尚、整理済み資料とは、標本化及び同定調査を完了してデータベースに登録を完了した資料のことです。

標本種別	Holotype	Paratype
哺乳類	0	1
爬虫類	3	0
甲殻類	11	38
昆虫類	9	73
合計	23	112

標本種別	収蔵点数	整理済点数
<b>自然系標本総数</b>	<b>38,430</b>	<b>24,868</b>
哺乳類	280	78
鳥類	65	55
両生・爬虫類	880	769
甲殻類	1,400	508
魚類	5	5
昆虫類	12,300	7,000
クモ形類	700	500
貝類	8,000	4,588
サンゴ類	4,000	3,614
植物・菌類	8,000	5,000
岩石・土壌・化石	2,800	2,751
<b>文化系資料総数</b>	<b>3,190</b>	<b>3,121</b>
考古資料	2,120	2,114
民俗資料	150	133
地理資料	40	26
美術工芸資料	880	848
文献資料	1,000	0
<b>総標本数</b>	<b>41,620</b>	<b>27,989</b>

### ◇ 風樹館コレクション No.1 【建物】

当資料館の建物は、沖縄県内の著名な建築家であった故、金城信吉氏の最後の設計によるもので、沖縄の城跡などに見られる石積み建築をイメージした外観となっている。内部は、一般に公開している1階展示室と研究目的のみで利用可能な2階収蔵室からなる。



建物には、沖縄の城跡や民家の石垣、墳墓などの石造建築に見られる石積みの美しい曲線をイメージした煉瓦造りの外観や、“ひんぷん”と呼ばれる民家の屋敷入口の目隠しをエントランスホール入口に設置するなど、琉球建築特有の様式が取り込まれています。



## 2007（平成 19）年度入館者数

2007（平成 19）年度入館者総数は、939 人でした。内訳は、学内学生 271 人、県内学生 469 人、県内一般 104 人、県外学生 27 人、県外一般 68 人です。県内学生については小学校等の社会科見学や総合学習、理科の授業等の団体利用が増えています。

※ ただし、入館無料のため来観名簿への記入者が少なく、実際の入館者数はさらに多いと思われます。また、昨年度は館内改修工事のため、夏季期間中は休館していたため、これまでより来観者数は減少した。

## 2008（平成 20）年度行事予定

### ◇ 日本土壌動物学会 31 回沖縄大会

日程：2008 年 5 月 24 日（土）～ 25 日（日）

場所：琉球大学大学会館（1 階・2 階）・琉球大学資料館（風樹館）

#### □ 5 月 24 日（土）

8:30 ～ 受付：大学会館 1 階エントランス 5 月 24 日（土）

9:00 ～ 12:10 口頭（大学会館 3 階）・ポスター発表（大学会館 1 階）

13:00 ～ 14:00 総会・学会賞授与式（大学会館 3 階）

14:00 ～ 15:00 若手研究者による特別講演（大学会館 3 階）

15:30 ～ 17:30 公開合同シンポジウム（大学会館 3 階）

16:00 ～ 18:00 合同懇親会（琉球大学中央生協）

#### □ 5 月 25 日（日）

9:00 ～ 10:30 口頭（大学会館 3 階）・ポスター発表（大学会館 1 階）

10:30 ～ 12:00 ポスター発表コアタイム（大学会館 1 階）

12:00 ～ 12:15 閉会式・記念撮影（大学会館 1 階）

13:00 ～ 17:00 トビムシ同定実習（資料館）



## 2008（平成 20）年度運営体制

各学部の代表者（教授）1 名からなる、琉球大学資料館（風樹館）運営委員会を設置し、以下の体制のもとに運営を行う。

- 館長（農学部教授兼任）：砂川 勝徳
- 学芸員（常勤）：佐々木 健志
- 事務補佐員（非常勤）：島袋 美由紀
- 学生ボランティア（随時）

- 運営委員：鈴木 正士（法文学部・准教授）、田吹 亮一（教育学部・教授）、長井 孝一（理学部・准教授）、土肥 直美（医学部・准教授）、平良 賢剛（工学部・准教授）、小倉 剛（農学部・准教授）

### ◇ 利用案内

開館時間：午前 10 時～午後 5 時

休館日：土・日・祝日・12 月 28 日～1 月 4 日

\* その他、臨時に休館する場合があります。

入館料：無料

住所：沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地

Tel./Fax：098-895-8841

E-mail：fujukan@agr.u-ryukyu.ac.jp

URL：http://fujukan.lib.u-ryukyu.ac.jp

公共交通機関：

那覇バスターミナルから 97 番か 98 番で「琉球大学北口」下車（所要時間約 1 時間）那覇空港からは高速バスで「琉球大学北口」下車（所要時間 34 分）。資料館（風樹館）まで徒歩 6 ～ 10 分。

